

令和6年度 第2回 三ヶ日西小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年10月25日（金）13時10分～15時30分まで
- 2 場所 浜松市立三ヶ日西小学校 会議室
- 3 出席委員 河合 成典、伊藤 暢洋、河合 文月、黒柳 千賀子
- 4 欠席委員 山本 修平、藤山 美恵子
- 5 オブザーバー なし
- 6 学校支援コーディネーター 池田 易史、酒井 恵子
- 7 学校 宮田 真由美（校長）、寺田 善一（教頭）
竹内 淳（教務主任）、福島 康良（生徒指導・CS担当）
進士 義光（CSディレクター）
- 8 教育委員会 なし
- 9 傍聴者 なし
- 10 協議事項
 - （1）夏の教育課程編成会議での検討事項について
 - ①予定帳の変更説明～方向性の承認
 - ②家庭学習の今後～アドバイス
 - （2）学校評価アンケートについて
○昨年度と今年度の違い
 - （3）校舎南側道路拡張に関する通学路の今後について
 - （4）夢育やらまいか事業
- 11 会議録作成者 CSディレクター 進士 義光
- 12 会議記録
司会の教頭から、委員総数8人のうち6名の出席があり、過半数に達しているため
会議が成立している旨の報告があった。

議長の選出

本日の議長 池田易史（いけだやすし） ※前回の協議会で議長選出済み

熟議

- （1）夏の教育課程編成会議での検討事項について、竹内教務主任から以下の通り「①予定帳の変更説明」があった。
- ・自己調整力を付け、個々に合った効率のいいスケジュール管理を推進するために、予定帳を常時一律で使用することを中断し、後期スタートの10月1日から時間割表による確認に変えている。
 - 現時点では保護者・児童から反対意見はない。
 - ・ただし学級によっては、以前の予定帳を継続してもいる。

<質問・意見>

Q（河合会長）忘れ物の状況はどうか？

（校長）持ち物はさくら連絡網を利用することで対策している。

教師より忘れ物が多くなったという報告はない。

（酒井）自己調整力、見通す能力は高学年になれば必要になってくると思う。

児童が「書き込みできる見通し予定表」になればよいのではないか。

（河合文）保護者が困っていないのであればよい。

自己調整力が付けられることは、積極的に実施した方がいい。

Q（池田）場合により予定帳に戻すことはあり得るのか？

(校長) 予定黒板はこれまで通り使っている。
発達段階に応じて対応していく。

Q (池田) タブレット撮影も可能なのか？

(校長) 共有の場は設けているが、今後も学校で検討していく。

(伊藤) 過去の自分は、予定記入は大事なことだと感じていた。

自己調整は意欲のある子にはよいが、意欲がない子にはどう対応したらいいのか？

(池田) 時間割にしたのは時間確保(読書等)のためであり、これで忘れ物が多くなったらだめだ。忘れ物をどうすべきかの話し合いは必要である。

(全員) 試行を続ける。方向性を承認した。

教務から以下の通り「②家庭学習の今後」の説明があった。

- ・児童にとってプラスになるために家庭学習がある、という意義を持たせたいこと。
- ・特に高学年には自ら計画を立てられるよう取り組んで欲しいこと。
- ・6年時は1週間分から2週間分の計画を立てられる指導をしていくこと。
- ・タブレット学習をより良い内容にしていきたいこと。(毎年機能が更新されていること)
- ・6年生に求めている姿を徐々に低学年におろしていきたいこと。

<質問・意見>

Q (酒井) 振り返りは個人任せか？教師と共有しているのか？

(福島) 本読みカードで週1回振り返りをしている。

Q (池田) 家庭学習を個人に任せるメリット、デメリットは？

(教務) デメリットとしては自分でハードルを下げてしまうこと。

楽な方に流れないように個人に支援する。

メリットは、中学校に進学したとき宿題の出され方が異なり(期日が小学校では翌日に対し中学では今度のテストまでに提出等)戸惑うケースに対応できること。

Q (池田) 「宿題(家庭学習)」の概念は年々変化している。職員の中で考えにバラツキがないように共通理解が必要だ。

(校長) 共有の場は設けているが、今後も学校自身が把握をしていく。

(伊藤) 夏休みの計画でもそうだが、なかなかその通り実行できない。

昔は大量に宿題が出てそれをひたすらやっていた。

しかし、それは昔の詰め込み世代のこと。

これからの子供たちには、考えて動ける人間になってほしい。

そうすれば、大人になっても困らないし良い仕事ができるようになる。

(池田) 子供たちが時間の上手な使い方ができるようになると良い。

計画を立てられない児童には、教師からの個別指導をしてほしい。

(校長) みなさんからの意見を参考に、低学年から自分で学習計画を立てられるようにしていきたい。

Q (伊藤) 家庭学習のタブレットに関してはどうか？

(教務) 取り組める学年で用いている。

(会長) ボランティアで見ていると、ドリルをやり終わった後に確かめをしていないようだ。

見返す時間が必要だと思う。

特に中学年くらいは子供同士で確かめ合う場があってもよいのではないか。

(校長) 本校はタブレットだけでなく、プリントの家庭学習もある。

(河合文) アドバイザーが必要。その時間が十分取れているか？

子供が弱い部分に挑戦するのか、得意な部分を伸ばしていくのか、アドバイスを
環境が必要。

サクセスストーリーをどのようにいくつかの納得感を持たせることも必要。

(校長) キャリア週間で、本校はキャリア教育を大切にしている。

本人だけでなく、親にも共有し、体制を整えていく。

(河合文) 例えば試験を受け合格することを数値にし、その尺度が見える化し児童と話し合う
等の工夫が必要。

児童本人が具体的に分かり、目標を立てる場を設定することで成長していく。

(池田) やりきった児童を誉める職員にしていくよう取り組んで欲しい。

(河合文) 児童の様子(表れ)を例示として紹介し、児童同士の共有をするとよいのではない
か?

(酒井) 教師の手立てに「目標の見える化」「身近な目標」があったら児童は分かりやすいと
思う。

(池田) 児童との問答が大切。

Q (黒柳) タブレットの効果的活用は期待している。

家族の後押しは必要←教師のサポートは絶大。

3・4年生が自分で丸付けする場合は教師も見届けるのか?

(教務) 見届けている。

(教務) 補足説明

・意外と児童が目標を立てていない※必要感を感じている児童が少ない。

「こうなりたい」と児童が思うような指導が必要と感じた。

(2) 学校評価アンケートについて、○昨年度と今年度の違いを教務から以下に説明があった。

・学校運営協議会委員宛を新たに設置(年度途中でも意見をいただけるのが良い)

・いくつかの設問で、これまで漠然とした表現だった文章を具体的な表現にした。

<質問・意見>

(会長) 昨今SNSによって子供が被害者になることが増えている。

情報モラルの質問事項を増設して欲しい。

小学生のうちから情報モラル教育を。評価項目に入れてほしい。

SNSの危険性について、学校評価に入れてもよいかもしれない。

(校長) 評価項目に入れることは可能である。

(酒井) 保護者への質問文の修正依頼をお願いしたい。

(3) 校舎南側道路拡張に関する通学路の今後について校長より工事が行われる背景について
以下に説明があった。(北土木からの回答)

・都市計画に沿って、歩道を含め16メートルで三ヶ日支所までの道路、三ヶ日町時代から
計画されていた。

・途中中断されていたが、地域から改めて要望書が上がった。浜松市から国に要望したところ、

①通学路であること、②学校に隣接していること、③中学生も通ること、この3つの条件
で許可が出た。

(教頭)「子供が安全に登下校できるように」が大前提。

西交差点は北側に横断歩道、ポインタ坂下は東の横断歩道だけが残る。この交差点南に横断誘導帯?の設置は可能とのこと。

<質問・意見>

Q (池田) この案でいきたいというのは警察の考えなのか?

(校長)「優先道路には横断歩道はめったに設置できない。」と警察から伝えられた。

(教頭) 西交差点の西側に停止線はつかない。

(校長) 地区によって通学路はばらばらになる。

(教頭)「交通安全指導員は歩き方の指導はできる。しかしどこを歩くかの指導はできない。」と警察から話があった。

(校長) 各通学班一つ一つ確認をして、安全のための指導の必要がある。

Q (教頭) 西交差点のL字の横断歩道はよろしいか?

(池田) いいと思う。学校南側の歩道は実質子供たちが通らないことになる。

(校長) 豊文堂前交差点の横断歩道がなくなる。西から南が優先道路になるため、横断歩道は北と東に設置となると警察から聞いている。

また、警察は「四辻坂を通せば」と言うが、四辻坂から北側を歩くと危険である。

そうすると、三ヶ日中央外科の通りから北に曲がる必要が出てきてしまうかもしれない。

Q (伊藤) なぜ豊文堂前の横断歩道がなくなるのか?

(校長)「信号機をつけてほしい」という要望書が地区から出されたが、信号機はつけられないので代わりに優先道路の話が出てきたそう。

(池田) 豊文堂前の横断歩道がなくなるのは困る。

(教頭) ポインタ坂前交差点については説明がほしいということによろしいか。

(酒井) 現在、西天、鶴代は、道路の東側を渡って通っている。

(河合文) 行きは右側、帰りは左側で通ることになる。

西交差点を北、西、南に行く子はよい。

そろばん塾方面に行く子は、南側歩道は通ってよいとなる。

ポインタ坂交差点が横断誘導帯でしか設置できない理由を知りたい。

<まとめ>

- ・ポインタ坂下交差点の説明が欲しい①横断歩道ではない②なぜL字ではないか。
- ・説明会は上神の住民への説明会しかない。連合に説明をして欲しい。
- ・主語は「学校運営協議会」で意見を伝える。

(4) 夢育やらまいか事業について

(教頭)「みかん学習」「命の授業」など文面を修正し、出し直させていただいてよいか。

具体的に「〇〇を依頼したらどうか」「〇〇を推進してほしい」と文面にしている。

※みかん学習は本年も伊藤暢洋氏にお願いしている。

連絡事項

(教頭) 次回、第3回学校運営協議会を令和7年2月7日(金) 13:30~15:30で
開催の報告があった。

※ 池田氏本人の申し出もあり、次回も議長として選出し委員の了承を得られた。